

## 「かごしま国体」への取り組み



▲トリアージ（治療の優先順位を決める）を行いながら、救助を行います。

## 警察・消防・医療機関の連携



▲負傷箇所を迅速に判断し、治療を行います。



▲軽度な負傷者に現場の状況を確認し、救助活動にいかします。

**今** 年開催される「かごしま国体」を想定した事故対応訓練が、2月7日に垂水中央運動公園体育館等で開催されました。

同訓練は「かごしま国体」へ多くの競技者、観客の来場が見込まれ、多数の傷病者事故の発生も予測されるため、初動での対応や医療機関等との連携の強化を目的としています。

当日は、関係者約70人が参加し、観客数十人が階段で折り重なって倒れたことから多数の傷病者が発生した現場を想定し、救助と現場救護所で医療機関がトリアージ（治療の優先順位を決める）や治療を行う訓練が行われました。

後迫浩一郎消防長は講評の中で「各機関が連携した今回の訓練はとても有意義なものとなりました」と話しました。

本市では、今後も「燃ゆる感動かごしま国体」の成功に向け運営能力の向上に取り組んでまいります。

## 大塚製薬株式会社 バランス栄養食等を贈呈



企画政策課政策推進係 ☎内線 245

**垂** 水市と大塚製薬株式会社との包括連携協定（令和3年12月22日締結）に基づき、2月9日、垂水市役所でバランス栄養食等の贈呈式が行われました。

これは、子育て支援の一環で、妊婦の体調管理をサポートする目的で贈呈されたものです。

尾脇雅弥市長は「子育て支援の推進に寄与していただき感謝します」と話し、木下真太郎鹿児島出張所長は「体調が優れない時など栄養摂取の選択肢の一つとしてご活用いただけると幸いです」と話しました。

本市では、今後も関係団体と連携し『妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援』の実現に取り組み、さまざまな事業を推進してまいります。



## 貴重な文化財を守れ！ 「文化財防火デー」消防訓練

社会教育課文化スポーツ係 ☎ 32-7551

**毎** 年1月26日に指定されている「文化財防火デー」に合わせた消防訓練が、2月10日に垂水市市民館敷地内にある和田英作画伯の画室周辺で行われました。

これは、昭和24年1月26日に奈良県法隆寺金堂の壁画が消失したことを教訓に、火災等の災害から文化財を守ることを目的に全国各地で行われているものです。

当日は、関係者約10人が参加し、消防本部の協力の下、通報・放水・初期消火訓練が行われ、防火に対する意識を高めることができました。文化財保護審議会の川崎あき子さんは「訓練でしたが緊張しました。有事の際は落ちついて行動したいです」と話しました。